

## 弁理士ジョージの相談室 Q & A

我が社は、商談会やイベントに使用したいと思い、デザイナーに依頼して、会社のマスコットキャラクターを作成することを考えています。このマスコットキャラクターを登録できないでしょうか？また、登録するにあたって注意すべきことはありますか？



具象化されたマスコットキャラクターに関しては著作権が発生します。一方、抽象的なマスコットキャラクターそのものには著作権が発生しません。デザイナーと著作権譲渡契約書を取りかわし、具体的なマスコットキャラクターのポーズの著作権の譲渡を受けてから、商標登録することができます。

そうですか。具体的なマスコットキャラクターのポーズは、現在も多くのポーズの図柄があるし、また、これからも色々なポーズが出てくる可能性があります。



では、譲渡を受ける著作権の対象について、以下のように考えてください。  
①既にイラスト等に描写され著作物として具現化されているもの(既に作成された著作物)  
②今後イラスト等の著作物として作成されるもの(将来創作される著作物)  
①、②について対象を明記して、著作権譲渡契約書の条項に入れて契約して下さい。

あと、他に注意事項はありますか？



さらに、著作者人格権については、譲渡されないで創作に残るので、契約書には、「本著作物に関する著作者人格権を行使しないものとする。」というような条項も入れてください。

わかりました。今後、これらの条項を入れた著作権譲渡契約書を締結し、商標登録を進めます。



## なすびくんのお仕事

阪間和之(作) 飯岡梨子(画)



## 日本弁理士会 広報誌

「PATENT ATTORNEY」は「弁理士」のことです。

# PATENT Attorney

2023  
VOL. 111  
秋号

パテント・アトニー



ヒット商品はこうして生まれた!

## ヒット商品を支えた 知的財産権

独自開発の包帯生地が生む 唯一無二の履き心地

## 「包帯パンツ」

- ▶ シリーズ特産品(大山ブロッコリー)
- ▶ 知っておきたい!この技術トレンドてっく(AIチャットボット)
- ▶ 知財miniトリビア
- ▶ 弁理士ジョージの相談室
- ▶ 漫画「なすびくんのお仕事」
- ▶ 特許庁からのお知らせ
- ▶ JPAA Information

## 特許庁からのお知らせ

### 知財経営の実践に向けたコミュニケーションガイドブックを紹介!



知財経営の実践には、知財部門の役割に対する意識を变えることと、経営層と知財部門とが濃密な議論を繰り返すことが求められます。経営層と知財部門との十分なコミュニケーションのもとで、知財経営を実践し、企業価値向上を実現するために、本ガイドブックをぜひご活用ください。



◀特許庁 HP  
「知財経営の実践に向けたコミュニケーションガイドブック～経営層と知財部門が連携し企業価値向上を実現する実践事例集～」について



## JPAA Information

### JPAA ホームページをリニューアルしました!!



この度、JPAA ホームページをリニューアルしました。皆様が見やすい、また、有益な情報へ容易にアクセスできるよう改修を行っておりますので、是非、ご覧ください。

JPAA ホームページ  
<https://www.jpaa.or.jp/>





## 包帯パンツ



### 独自開発の包帯生地が生む 唯一無二の履き心地

ログイン株式会社の「包帯パンツ」は通気性と自然な伸縮性で蒸れない、汗冷えしないのが大きな特徴で、締め付け感もない。医療用包帯をもとに独自開発した生地により、従来のアンダーウェアと一線を画す商品としてアスリートや舞台俳優などの支持も得て、ユーザーを拡大している。同社代表取締役の野木志郎さんは父が創業したユニオン野木に転職した2002年、たまたまサッカー W 杯日韓大会で、目の前で見た日本代表のゴールに体が震え、男性アスリート向けアンダーウェアの開発を志したという。

20年ほど大手通販会社で商品開発をした経験から、野木さんは国内はもとより欧米や東南アジアにも出向き、パンツを片っ端から買い集めて自身で試してみた。ハイブランドの商品は生地も履き心地も素晴らしい。それらのパンツで、学生時代から楽しんできたテニスをして、汗で肌に張り付いたパンツは大きく脚を開くなどの動きを阻害することを実感した。伸縮性と通気性を兼ね備えた生地を求めてメッシュ素材のメーカーからサンプルを取り寄せたが、当時は合成繊維100%で通気性、吸湿性がないものばかり。開発を諦めそうになった時、父から「包帯の生地はどうか」とアドバ



イスがあった。ユニオン野木は大手メーカーのOEMで女性用ショーツなどを自社工場で作っていた。そこで使うレー

スの製造メーカーが包帯も製造していた。包帯は幅5cmが一般的で、どうしたらパンツにできるのか見当もつかなかった。様々な工場に幅1mの包帯生地製造を打診したが、独自開発で発注ロットも小さいため相手にされない中、ついに富山の小さな工場が引き受けてくれた。幅を広くするだけでなく、包帯素材の安価なレーヨンに綿を変更するなど、手探りの試行錯誤で20回以上の試作を重ねて製品化できる目処がつくまでに約4年かかった。

まだこの時点では生地が波打つなどの難点があり染色、乾燥の工程を見直した。染色工程で生地の長さは半分になり、乾燥でさらに2割縮むが、このことによって自然な伸縮性も生まれた。柔らかい生地は裁断も難しく、ポリウレタンの糸は裁断後に縮むために縫製作業はスピードが要求される。裁断や縫製のスタッフから扱いにくい生地だと苦情が噴出したそうだ。

オリジナル商品として展開するために2006年、野木さんはログイン株式会社を設立して独立、翌年に包帯パンツを発売した。特殊な生地でコストもかかるから、商品も高額にならざるを得ない。「アパレル業界は素人」だった野木さんはセレクトショップのユナイテッドアローズに売り込み、販売戦略のアドバイスも受けて、大手百貨店での販売も実現した。認知度を上げようと戦国武将の鎧をデザインした「甲冑パンツ」を企画、東京の東郷神社で展示会

特許 第4570684号  
商標登録 第5353968号、第5259306号 ほか

を開催して海外のニュースでも取り上げられ、歌手マドンナのワールド・ツアーの衣装に採用される快挙もあった。しかし販売には繋がらず大量在庫を抱えることになったという。

「以来、ベーシックな商品を定番化してクチコミとSNSで少しずつブランドの認知度を高めてきました」と野木さんは振り返る。その後もウエストゴムなしのパンツ、女性用ラインナップのほか、アスリートの要望に応える商品を次々に開発している野木さんは「同じことを続けるのはつまらないんです」という。さらに製造工場に端材の山を目の当たりにして有効利用できないものかと思立ち、包帯生地に端材を入れた「包帯ボール」を作った。これを知人の幼児教育専門家に見せたところ、室内で幼児が安全に遊べる画期的なボールだと評価された。また高齢者の運動にも活用できるなど用途は広いという。だが生産工場が国内で見つからず、野木さんはインドに行って生産拠点を確保して本格的な生産に乗り出した。

同社では「包帯パンツ」をはじめとする多数の商標登録を受け、特許権の取得にも積極的である。野木さんは「大手メーカーの強い業界、さらに世界で生き残るには、知的財産権を持つしかありません」と言い切る。「包帯ボール」もすでに特許権・商標権を取得している。



包帯ボールを持つ野木さん

シリーズ JAPAN 特産品

## 大山ブロッコリー

商標登録：第5503402号



鳥取県西部に位置し、日本で3番目の国立公園となった中国地方最高峰の大山。その大山山麓及び大山町で生産されているのが、大山(だいせん)ブロッコリーです。水はけがよく有機質に富んだ黒ぼく土、清らかな水、豊かな自然環境に生まれ、甘みが強くエグミが少ない、という食味の良さが特徴です。

この地でのブロッコリー生産の始まりは、1969年、大山町での水田転作としての生産に遡ります。その後、西日本一の産地を誇るも、平成に入り、連作による病気

の発生や輸入ブロッコリーの影響で低迷期が訪れます。

このピンチに対し、出荷形態の変更、ボリュームアップ、全国に先駆けた葉付き出荷などを行い、産地表示が義務化されていない時代に外国産との差別化に成功しました。植物の呼吸の緩やかな気温の低い夜間から早朝に丁寧な収穫作業が行われ、名古屋市場を中心に全国へ出荷されます。冷涼期には平坦地、高温期には準高冷地を中心に栽培することで、真夏の時期を除き、ほぼ年間を通じた安定供給を実現しています。

2012年に地域団体商標の登録を受け、2018年には、地理的表示(GI)の登録も受けました。徹底した品質管理を続け、地域の共有財産として大山ブロッコリーを保護しています。また、大山ブロッコリーの中でも、化学肥料を通常よりも約70%減らすとともに、エグミのもととなる硝酸イオン値の基準を満たしたものを、「きらきらみどり」として出荷するなど、こだわりの商品作りにも注力しています。



このコーナーに掲載御希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先を右記までお送りください。 Fax 03-3519-2706 Mail panf@jpaa.or.jp

知っておきたい!この技術  
トレンドてっく

シリーズ  
52

## AIチャットボット

AIの機械学習機能を用いて自動的に適切な回答を提示するAIチャットボットは、メーカーのユーザー対応など様々な問い合わせ対応に利用され、業務の効率化に貢献してきた。近年の機械学習、深層学習機能の飛躍的進歩により2022年11月にプロトタイプが公開された「ChatGPT」は、画

期的なAIチャットボットとして世界中で注目された。多言語に対応、操作が容易、1分足らずで自然な文章で回答を出すとして、公開からわずか2ヶ月でユーザーが1億人を突破し、日本でも自治体での導入が話題になった。

「ChatGPT」やこれと同様の機能を利用して検索結果を生成する「Bing」などは生成AIと呼ばれる。SNS、メールも含めウェブ上にある膨大な文字・画像情報を学習し、その中から課題に対するコンテンツを生成する。学習した内容に混じる偏見や間違った情報を

反映することもあり、回答の妥当性、正確性は保証されていない。また著作権の侵害も懸念され、欧州連合(EU)では「AI規制法」が導入される見込みだ。アメリカでもプライバシー保護の原則を「AI権利章典」に盛り込んだ。生成AIについては今後の世界の動向を注視したい。



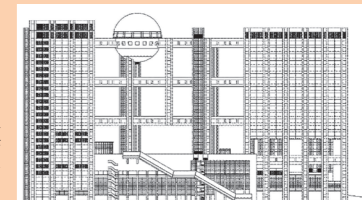
## 知財 mini トリビア

### 第11回 高さ120メートル以上の登録商標

商標法で認められる商標は、長らく、文字、図形、記号、およびこれらの組み合わせに限られていましたが、1996年の法改正で、立体的な形状からなる「立体商標」が登録できるようになりました。(さらに2014年の法改正で「動き商標」「ホログラム商標」「色彩のみからなる商標」「音商標」「位置商標」が加わりました。)

立体商標の登録第一号は、ケンタッキーフライドチキン(KFC)のカーネルサンダースの店頭人形です。最近では、明治の「きのこの山」と「たけのこの里」のお菓子の形状が商標登録されたことも話題となりました。

巨大な立体商標も登録されています。第8回で「高さ80メートル以上の登録意匠」(東京・飯田橋のタワーマンション)について紹介しましたが、高さ120メートルを超える建築物が立体商標として登録されています。東京・台場にあるフジテレビ本社ビル(FCGビル)です。なお、立体商標として登録を受けるためには、その形状が自分の商品・サービスと他人の商品・サービスを区別する力(自他商品・役務識別力)を持っている必要があります。(弁理士 稲穂健市)



商標登録第5751309号